

乃とく赤く血と然せるがごとく眼の珠小なり
ひらの電の毛もあわれなくかいたるごとく金
乃とく爪はさくやう織の毛も頂半にさぐ削
ふらり顎はさくいさく卵乃とく膝ひらく頬わく
海はく腰をか越あのかねにも脾ひらく肉はた
いはきもとれどとれど長髪をせり何多ひの頭は露
乃とく髪よほく骨はさく肘らいつくあ脛むく
六朝乃とく花いもれ不支乃髪をせりかくの毛は乃
髪は軟くくぬおとぬさななく奸ふある後
こつくりてふぬくはたともしーばふとむと